

2020年3月期 第2四半期決算説明会

2019年12月4日



イメージ情報開発株式会社

東証JASDAQ：証券コード 3803

I グループ概要

- II 資本金、資本準備金の減少及び剰余金の処分**
- III 2020年3月期 第2四半期決算概要**
- IV 新体制への移行**
- V 中期経営計画について**

【設 立】	1975年（昭和50年）10月
【代 表 者】	代表取締役社長 代永 拓史
【資 本 金】	3億0,100万円
【事 業 内 容】	情報システムの設計/開発、運用/保守、BPO/サービス
【本社所在地】	東京都千代田区神田猿樂町 2-4-11 犬塚ビル
【子 会 社】	イメージ情報システム株式会社、株式会社マーベラント
【治 革】	

1975年10月	会社設立
1976年 4 月	コンピュータデータとイメージデータの複合処理事業を開始
1984年 4 月	システムインテグレーション事業に進出
2004年 4 月	セキュリティサービス販売を開始
2006年 4 月	プライバシーマーク認定取得（イメージ情報システムに移管）
2006年 4 月	大阪証券取引所（現東京証券取引所）JASDAQに株式上場
2009年12月	イクオス株式会社（現 ㈱マーベラント）設立 連結子会社化
2011年 7 月	本社事務所を東京都千代田区神田猿樂町に移転
2013年10月	株式を200分割
2017年10月	新設会社分割によりイメージ情報システム株式会社を設立
2017年10月	株式取得によりエクストップエスオー株式会社（現 ㈱アイデポルテ）を連結子会社化
2018年11月	株式会社アイデポルテを連結除外
2018年11月	第1回新株予約権行使により資本金5億9,605万円
2019年 8 月	資本金3億0,100万円に減資

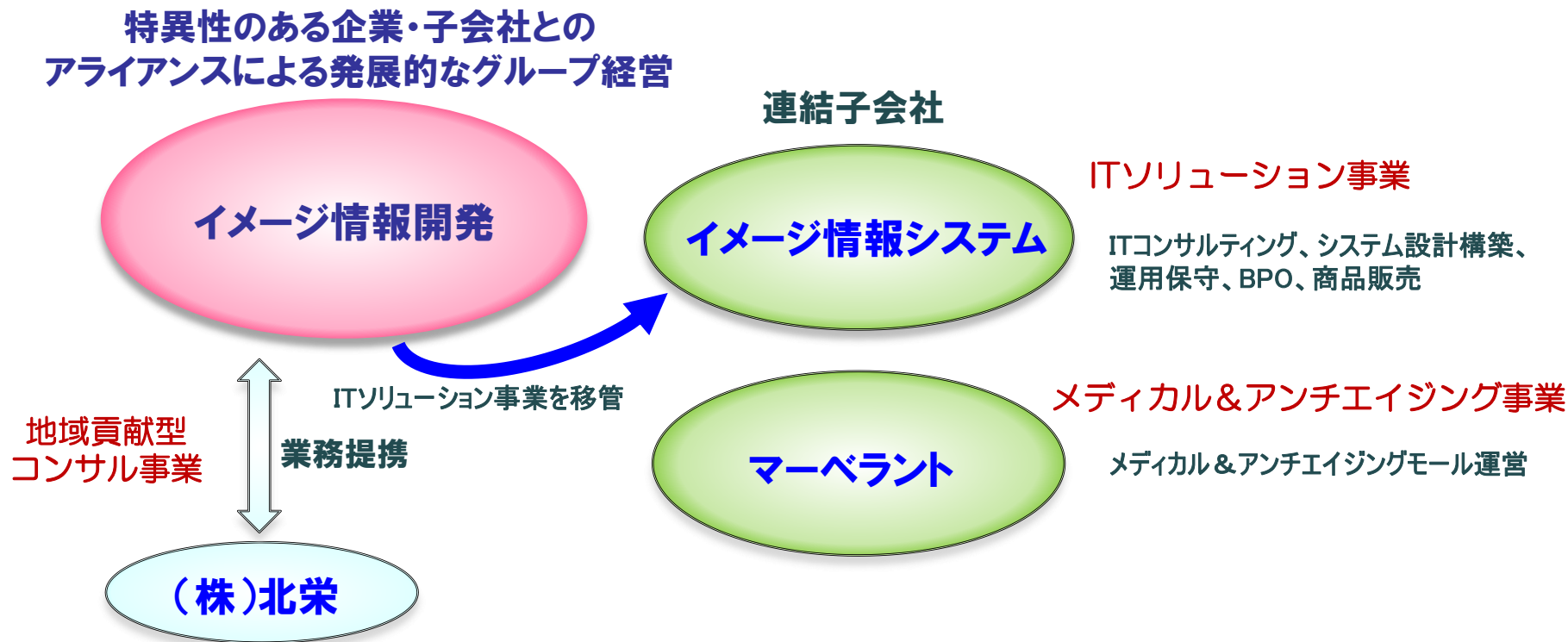
イメージ情報開発グループについて



当社は、ITシステムのコンサルティングから設計、構築、運用、BPO等の総合的なサービスにより、企業ビジネスの支援を行ってまいりました。

今後の発展的なグループ経営を目指し、2017年10月にイメージ情報システム(株)を分社、子会社化し、ITソリューション事業を移管しました。

ITソリューション、メディカル&アンチエイジング、地域貢献型コンサルの3事業で構成します。



【設 立】 2017年10月
【代 表 者】 代表取締役社長 片柳 依久
【資 本 金】 7,000万円
【本社所在地】 東京都千代田区神田猿樂町 2-4-11 犬塚ビル
【事 業 内 容】

〔システムインテグレーション事業〕

ITシステムのコンサルティング、設計、構築、および、構築後の運用および保守までを行う事業

＜実施例＞

債権回収支援システム、貸金管理システム、証明書類徴収システム、配送管理システム、入金管理システム、入会管理システム、マーケティング支援システム、など

〔BPO/サービス事業〕

企業の特定業務を一括して代行する事業（Business Process Outsourcing）

＜実施例＞

会員管理、EC決済サービス（クレジット、コンビニ決済）、クレジット包括加盟管理サービス

〔セキュリティ事業〕

セキュリティコンサルティング、情報漏洩対策システム設計構築

〔特定業種のパッケージソフト〕

観光事業アプリパッケージ（Easy Navi）、製函業者向け販売管理システム（i-case Smart）

【設 立】	2009年（平成21年）12月16日
【代 表 者】	代表取締役社長 佐藤 将夫（2019年6月就任）
【資 本 金】	9,000万円
【本社所在地】	東京都千代田区神田猿樂町 2-4-11 犬塚ビル
【事 業 内 容】	メディカル&アンチエイジングモールの運営



中央区銀座6丁目にある Daiwa銀座アネックスの 2～4階を賃借し、「メディカル&アンチエイジングモール銀座」として、医院やアンチエイジングケアなどのテナントの管理、運営を行っています。

2019年10月に（株）ヴァージンメディカルから（株）マーベラントに
称号変更いたしました。

※「マーベラント」とは、英語の“Marvelous（素晴らしい、
信じられない）”と“Brilliant（光り輝く）”を掛け合わせた造語です。
これは、来客者、利用者の達成感をイメージしたものです

- I **グループ概要**
- II **資本金、資本準備金の減少及び剰余金の処分**
- III **2020年3月期 第2四半期決算概要**
- IV **新体制への移行**
- V **中期経営計画について**

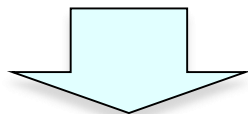
資本金及び資本準備金の額の減少及び剰余金の処分



2018年度決算

純損失 156,452千円

利益剰余金 △479,875千円



早期復配体制への移行

資本政策の柔軟性及び機能性の確保

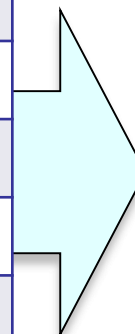
減資（効力発生日**2019年8月1日**） 資本金及び資本準備金の減少、剰余金の処分

単体の純資産の動き

【単位：千円】

振替前	
資 本 金	597,317
資 本 剰 余 金	135,498
資 本 準 備 金	134,426
その他資本剰余金	1,072
利 益 剰 余 金	△479,875
利 益 準 備 金	2,000
その他利益剰余金	△481,875
純 資 産	198,457

変動額
△296,317
△135,498
△134,426
△1,072
431,816
—
431,816
—



振替後
301,000
0
0
0
△48,058
2,000
△50,058
198,457

※金額は2019年3月31日現在

- I グループ概要
- II 資本金、資本準備金の減少及び剰余金の処分
- III 2020年3月期 第2四半期決算概要
- IV 新体制への移行
- V 中期経営計画について

【単位：百万円】

	2019年3月期 年度末実績	2020年3月期 第2四半期末実績	対前期末比	
			増減	増減率 (%)
資産合計	531	574	43	8.1
流動資産	442	417	△25	△5.8
固定資産	89	157	68	77.1
負債合計	297	327	30	10.1
流動負債	134	139	5	3.6
固定負債	163	188	25	15.5
純資産合計	234	247	13	5.5
負債純資産合計	531	574	43	8.1

- ✓ 流動資産：受取手形及び売掛金46百万円増、現金及び預金63百万円減
- ✓ 固定資産：投資有価証券67百万円増
- ✓ 流動負債：未払金30百万円減、買掛金29百万円増
- ✓ 固定負債：繰延税金負債20百万円増
- ✓ 純資産：その他有価証券評価差額金47百万円増

【単位：百万円】

	2019年3月期 第2四半期実績	2020年3月期 第2四半期実績	対前期比	
			増減	増減率 (%)
売上高	348	355	7	1.9
売上原価	321	299	△22	△6.9
売上総利益	27	56	29	104.5
販売管理費	81	84	3	3.8
営業利益	△53	△28	25	—
経常利益	△53	△26	27	—
親会社株主に帰属 する当期純損失	△61	△31	30	—

- ✓ 売上高：セキュリティ製品販売が増、その他事業は堅調に推移
- ✓ 利益：売上原価率改善（92.1%⇒84.2%）するも営業利益、経常利益の黒字を確保できず
過年度決算訂正の課徴金を特別損失に6百万円計上
- ✓ 特別利益：債権回収による特別利益（50百万）を見込んでいたが回収できず

■ 当第2四半期連結業績

◎ 売上高 355百万円(前第2四半期:348百万円)

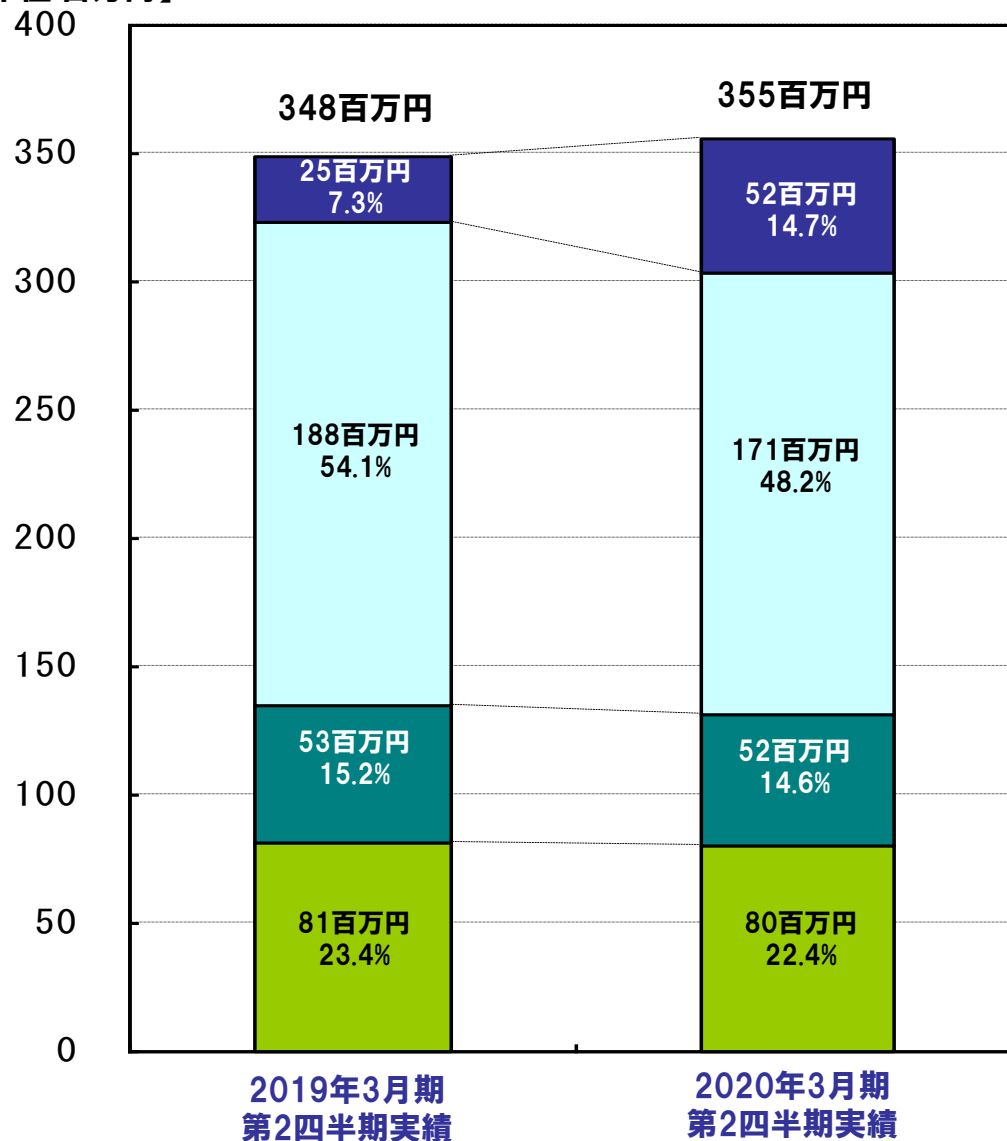
(単位: 百万円)

	コンサルティング /設計/構築	運用/保守	商品販売	BPO/ サービス	合計
2018年3月期第2四半期	281	49	5	79	416
2019年3月期第2四半期	188	53	25	81	348
2020年3月期第2四半期	171	52	52	80	355
前年同期比	90.7%	98.2%	205.5%	97.9%	101.9%

※ マーベラント社の賃貸売上は、BPO/サービスに計上

※ 地域貢献型コンサル事業の売上は、コンサルティング/設計/構築に計上

【単位:百万円】



商品販売

セキュリティ製品販売が増加

コンサルティング/設計/構築

新規システム案件の増加

(株)アイデポルテの連結除外による減少

※ 地域貢献型コンサル事業の売上0

運用/保守

過去に導入したシステムの運用および保守は堅調に推移

BPO/サービス

商店街等の団体向け決済サービス等が堅調に推移

メディカル&アンチエイジングモールの賃貸売上が堅調に推移

※ マーベラント社の賃貸売上は本セグメントに計上

【単位：百万円】

	2019年3月期 第2四半期実績	2020年3月期 第2四半期実績	対前期比 増減
営業活動によるキャッシュフロー	△ 35	△59	△24
投資活動によるキャッシュフロー	11	△3	△14
財務活動によるキャッシュフロー	46	—	△46
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	21	△62	△83
現金及び現金同等物の四半期末残高	96	252	156

✓ 営業活動CF：税金等調整前当期純損失 △32百万円
売上債権の増加 46百万円

現金及び現金同等物の四半期残高については、2018年11月に新株予約権が行使されたことから前期末との比較では156百万円増加しています。

- I **グループ概要**
- II **資本金、資本準備金の減少及び剰余金の処分**
- III **2020年3月期 第2四半期決算概要**
- IV **新体制への移行**
- V **中期経営計画について**

当社の経営理念

変革を求める企業・団体に対し、先進的ITを駆使した独創的サービスや機能の提供を通じ社会に貢献する

再発防止策

第三者委員会の調査報告書を尊重し、かつ不適切な会計処理の原因分析を踏まえ、新体制に移行し再発防止を徹底する

最新テクノロジー分野への参入

公正中立な社外取締役の就任

■ 2019年6月26日株主総会にて承認

取締役を3名体制から5名体制に増員

経験豊富な社外取締役2名を選任

内部監査室長を外部から登用

取締役新体制

代表取締役	代永	拓史
取締役	佐藤	將夫
取締役	代永	衛
社外取締役	小山	脩
社外取締役	矢治	正司

- I グループ概要**
- II 資本金、資本準備金の減少及び剰余金の処分**
- III 2020年3月期 第2四半期決算概要**
- IV 新体制への移行**
- V 中期経営計画について**

2020年3月期の通期業績予想【連結】



(単位：百万円)

	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 通期予想			
		上 期	下 期	通 期	前年比(%)
売上高	702	355	419	774	110.3
営業利益	△47	△28	27	△1	—
経常利益	△56	△26	25	△1	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	△156	△31	65	34	—

- ITソリューション事業の受注増加と、これに伴う社内人材の資質向上と外部人材リソースの活用、原価率の低減
- メディカル&アンチエイジング事業の設備構造等見直し、収益性の向上
- 貸付金等の回収による貸倒引当金の戻入

コンサルティング/設計/構築

- OSSを活用した新規案件の受注
- × 新規取引先の拡充と新規案件の受注拡大
- × 外部人材リソースを活用した受注規模拡大
計画通りの受注拡大には至らず
- × 売上原価率の低減
前期の原価率は維持

運用/保守

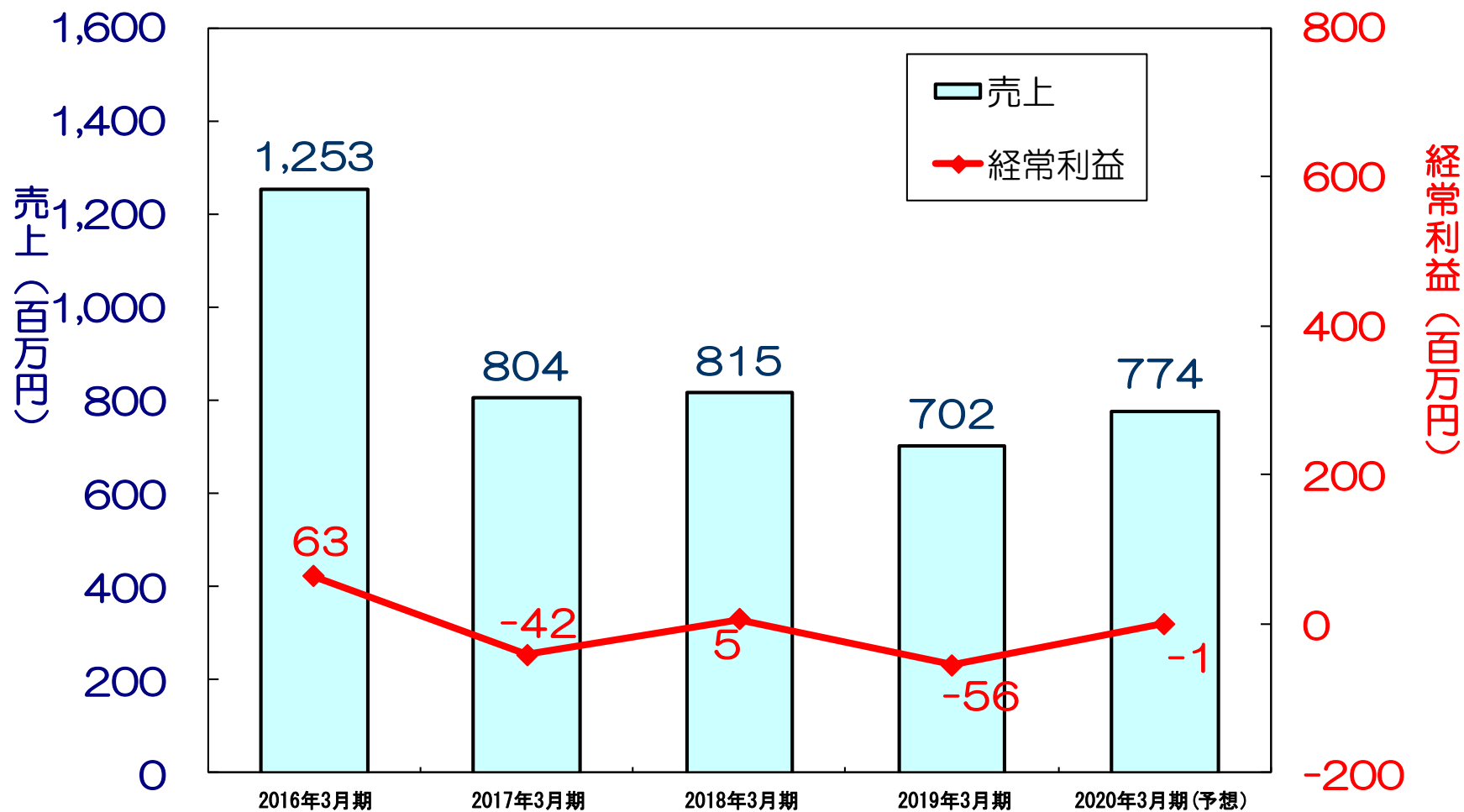
- 既存取引先からの保守業務の継続受託
- × 新規システム構築、既存システムエンハンス後の保守業務受託
新規システムの受託および保守受託が不調

商品販売

- △ セキュリティソフトライセンス販売の強化
(自治体営業強化/販売代理店拡大)
売上計上。自治体営業、代理店の拡大は不調
- OSS関連ソフトの自社開発及び販売の開始

BPO/サービス

- 地銀向け決済精算代行業務の本格稼働
- × 決済サービスを活用した新たな受託先開拓
- メディカル&アンチエイジングモールの見直しに着手



当社は、株式会社北栄（以下「北栄社」という）に対し、2020年度第2四半期末において、399,375千円の貸付けと、売掛金等の98,679千円の未収入金があり、これら全額を過年度に貸倒引当金として特別損失に計上しております。

今後の業績予想につきましては、北栄社の業績回復による、当社の売上と上記債権の回収状況が著しく影響いたします。

北栄社は、沖縄県において海砂の採取、販売を行っており、大規模な埋立工事が予定されていることから、船舶の増設等により業績が大幅に改善される可能性があります。

しかしながら、その開始時期や北栄社が担う海砂供給量など未確定な事項も多く、現時点でこれを数値化してお示しすることが困難な状況となっております。

今後、これらの状況が明らかになった際には、その内容を速やかにお知らせするとともに、2020年3月期業績予想の修正並びに2021年3月期及び2022年3月期の実績目標をお知らせいたします。

現在の目標

- 財務体質の改善
- 収益改善、早期黒字化
- 成長事業の構築

取り組む課題

- 既存課題への対応
ITソリューション事業における営業プロセスからのプロジェクト管理・監査
メディカル&アンチエイジング事業におけるモール内整備と有効活用
- グループ体制の整備
各社の状況整理、グループ方針の明確化、体制整備
各社の収益改善、成長に向けた計画見直し
- (株)北栄との連携による、地域貢献型コンサル事業の見直し
債権回収および事業化の可能性具現化
- 資本政策(資金調達)、保有資産売却、M&A

本日は、ありがとうございました。

＜お問い合わせ先＞

担当窓口： イメージ情報開発株式会社

常務取締役 経営管理室長 佐藤 将夫

TEL : 03 - 5217 - 7811

FAX : 03 - 5217 - 7816

URL : <http://www.image-inf.co.jp/>

本資料には、将来にわたる見通しに関する記述が含まれております。これらは現時点での予測であり、実際の業績は、今後の経済動向やその他の社会・政治情勢など様々なリスクや不確定要素により、見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。